

「世界文化遺産：明治日本の産業革命遺産」と桜島・知覧を訪ねる

2016年1月23、24日 JGA 第四支部 「鹿児島」研修レポート

1月23～24日、昨年7月に世界遺産に登録された鹿児島を舞台に研修を実施しました。24日はあいにく滅多にない大雪の為に研修は中止を余儀なくされましたが、初日の世界遺産と桜島の研修は無事終わることができました。参加者は、第四支部3名の運営委員、会長、副会長を加え、何と全国14都府県から、総勢38名（会員27名、非会員11名）が参加しました。



初日の研修は鹿児島仙巖園から始まりました。尚古集成館副館長の松尾千歳氏から、「世界文化遺産：明治日本の産業革命遺産」にどうして鹿児島が選ばれたか、から始まる講義をうけました。郷土を愛する松尾氏の、鹿児島の位置と視点からの熱のこもった

講義は大変興味深く、歴史はこんなに面白いものなのかと再確認できました。その後、松尾氏の詳しい説明を伺いながら、尚古集成館内、仙巖園庭園内を歩きました。仙巖園での研修の様子は、南日本新聞社の取材を受けました。フリータイムには各自で昼食を済ませ、世界遺産でもある異人館や、隣接する薩摩切子工場へと足を運ぶ参加者もいました。



午後はフェリーで、白い雪をいただいて美しく雄大な姿の桜島

に渡りました。桜島ビジターセンターでは、ビデオ鑑賞後、NPO法人桜島ミュージアムの野口氏から、桜島がどのようにしてつくられたのか、現在の桜島の活動状況など、活火山を目の前にして講義をうけました。

来日観光客にも人気の足湯を楽しむ参加者もいました。



研修後の懇親会には、公益社団法人鹿児島県観光連盟の寺田秀人氏にご参加くださいました。鹿児島の郷土料理に舌鼓をうち、和気あいあいの雰囲気の中で話が弾みました。



2日目は鹿児島では滅多にない程の降雪で、運営委員の冷静な判断で研修は中止となりました。参加者は流石プロのガイドだけあって、各自交通を手配して帰途につきました。実質1日だけでしたが、市、県から貴重な資料もいただき、非常に充実した内容の研修でした。